

五十音

北原白秋

水馬赤いな。ア、イ、ウ、エ、オ。

浮藻に子蝦もおよいでる。

柿の木、栗の木。カ、キ、ク、ケ、コ。

啄木鳥こつこつ、枯れけやき。

大角豆に醋をかけ、サ、シ、ス、セ、ソ。

その魚浅瀬で刺しました。

立ちましよ、喇叭で、タ、チ、ツ、テ、ト。

トテトテタツタと飛び立った。

蛞蝓のろのろ、ナ、ニ、ヌ、ネ、ノ。

納戸にぬめって、なにねばる。

鳩はとぽっぽ、ほろほろハ、ヒ、フ、へ、ホ。

日向ひなたのお部屋へやにや笛ふえを吹くふ。

蝸牛まいまい、螺旋卷ねじまき、マ、ミ、ム、メ、モ。

梅うめの實み落ちておても見みもしまい。

焼栗やきぐり、ゆで栗ぐり。ヤ、イ、ユ、エ、ヨ。

山田やまだに灯ひのつく宵よいの家いえ。

雷鳥らいちょうは寒さむかる、ラ、リ、ル、レ、ロ。

蓮花れんげが咲さいたら、瑠璃るりの鳥とり。

わい、わい、わっしよい。ワ、井、ウ、エ、ヲ。

植木屋うえきや、井戸換いどがへ、お祭まつりだ。

『白秋童謡集 第5集(祭の笛)』アルス

北原白秋 著並訳 より

(一部加工しています。)